

# 透析患者における透析スタッフからの励ましと水分コントロールのアドヒアランスの関連：22～82 歳の透析患者 72 人の横断研究

横山葉子<sup>1</sup>、鈴鴨よしみ<sup>2</sup>、堀田修<sup>3</sup>、山崎新<sup>1</sup>、川口武彦<sup>1</sup>、長谷川毅<sup>1</sup>、千葉茂実<sup>4</sup>、守屋淑子<sup>3</sup>、阿部えみ<sup>4</sup>、佐々木敏<sup>5</sup>、芳賀めぐみ<sup>6</sup>、福原俊一<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>京都大学、<sup>2</sup>東北大学、<sup>3</sup>仙台社会保険病院、<sup>4</sup>川平内科、<sup>5</sup>東京大学、<sup>6</sup>尚絅学院大学)

## 【背景】

透析患者において、透析間の体重増加量が多いと、透析効率の低下や高血圧の増悪、死亡のリスクが高くなることが先行研究で指摘されています。したがって、透析患者にとって水分コントロールは、重要ですが、約 10%～60%（ノンアドヒアランスの定義によって異なる）の患者は、水分コントロールができていないといわれています。これに対して、水分コントロールのアドヒアランスを向上させるため、水分コントロールに関連する要因を検討する多くの先行研究が行われてきました。これらの研究で、性別、年齢、教育レベル、収入といった要因が関連していることが明らかになっていますが、近年では改善可能（modifiable）な心理社会的要因に注目が集まっています。その中でも、社会的サポートが注目されるようになってきました。透析患者における社会的サポートとしては、家族や友人、医療スタッフからのサポートが考えられますが、これまで医療スタッフからのサポートが透析患者の水分コントロールとの関連は明らかにされていませんでした。そこで、本研究では、透析スタッフからの励ましを感じている患者は、そうでない患者よりも水分コントロールがよくなるのではないかという仮説をもとに、透析患者における水分コントロールと透析スタッフからの励ましとの関連を検討しました。

## 【方法】

研究デザインは横断研究でおこないました。アウトカムは、ドライウエイト（DW）あたりの透析間体重変化量（IWL）とし、ノンアドヒアランスを  $IWL/DW > 5.7\%$  と定義しました。透析スタッフからの励ましは、Kidney Disease Quality Of Life の下位尺度を用いました。水分コントロールのノンアドヒアランスに関連する要因は、ロジスティック回帰モデルを用いて解析し、関連する要因のスコア 1SD 減少ごとの水分コントロールのノンアドヒアランスのオッズ比を算出しました。

## 【結果】

72 名の参加者のうち、45 名が男性（62.5%）、27 名が女性でした。72 名の参加者のうち、水分コントロールがノンアドヒアランスであった患者は、22 名（30.6%）でした。透析スタッフからの励ましスコアと水分コントロールのノンアドヒアランスとの関連は、1.75（95% confidence interval (CI): 1.02-3.0）でした。これは、透析スタッフからの励ましスコアが 1SD 下がると水分コントロールのノンア

ドヒアランスとなるオッズが 1.75 倍になるということです。また、性、年齢、利尿剤の使用有無、Kt/V、BMI、糖尿病の有無で調整済みのオッズ比は、2.51（95% CI: 0.99-6.34）でした。

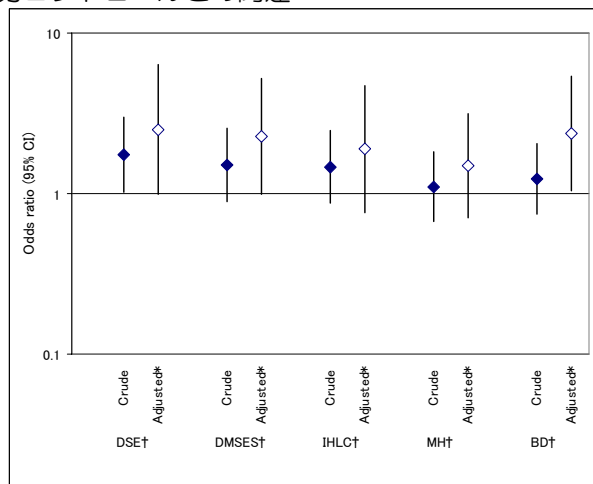
## 【結論】

本研究の結果から、「透析スタッフからの励まし」は、仮説どおり、水分コントロールの改善に重要な要因であることが示唆されました。これまでに水分コントロールに関連するといわれている健康行動科学理論に基づく要因と比較しても、強いまたは同等の関連がみられました。

しかし、本研究は大規模研究ではなく、また横断研究であるため、因果関係を証明することはできません。今後も、大規模な研究を検証的に実施していくことや、患者が透析スタッフから励まされたと感じる時とはどのようなときなのか、どのようにすればそう感じるのか、などの研究が必要といえるでしょう。

出典：Yokoyama Y, Suzukamo Y, Hotta O, Yamazaki S, Kawaguchi T, Hasegawa T, Chiba S, Moriya T, Abe E, Sasaki S, Haga M, Fukuhara S. Nephrol Nurs J 2009; 36(3):289-97.

図 1：透析患者における透析スタッフからの励ましと水分コントロールとの関連



DSE：透析スタッフからの励まし、DMSES：食事管理の自己効力感、IHLC：Health Locus of Control、MH：精神的健康度、BD：食事療法の負担。青：粗オッズ比、白：調整済みオッズ比（性、年齢、利尿剤の使用有無、Kt/V、BMI、糖尿病の有無で調整）